

トピック(テーマ)		信濃の古典(2)
ねらい		信濃の古典そのものを読みたい。
キーワード		常木 武御名方神 古事記 東歌 防人歌 万葉集 望月の駒 拾遺集 姨捨の月 伊勢物語 大和物語 今昔物語 清水冠者 木曾最期 平家物語 宇治拾遺物語 物くさ太郎 御伽草子 善光寺紀行 とはずがたり 生身の如来 善光寺縁起 紅葉狩 一茶 おらが春 芭蕉 更科紀行 伊那のなかみち 菅江真澄 続膝栗毛 井上井月 加舎白雄 十返舎一九 秋山紀行 頼山陽 内山真弓 佐久間象山 太宰春台
概要を知るためのツール	1	書名 現代口語訳 信濃古典読み物叢書【第1巻】
		著者名 信州大学教育学部附属長野中学校創立記念事業編集委員会／編集
		出版社 信濃教育会出版部
		出版年 1987.2
		内容紹介 唐糸草子(御伽草子). ものぐさ太郎(御伽草子). 大塔物語(軍記物語). 姨捨(謡曲)を収録
資料リスト	1	書名 万葉集東歌・防人歌の心
		著者名 坂下圭八／著
		出版社 新日本新書
		出版年 2001.1
		内容紹介 東国庶民の生活・労働から生まれた野性の愛の歌、国境警備に赴く防人たちの故郷・妻子への尽きせぬ想い…。古代東方の歴史・社会のなかにくりひろげられる、もうひとつの万葉集の世界を案内する。
	2	書名 現代口語訳 信濃古典読み物叢書【第6巻】
		著者名 信州大学教育学部附属長野中学校創立記念事業編集委員会／編集
		出版社 信濃教育会出版部
		出版年 1990.6
		内容紹介 委寧能中路(伊那のなかみち). わがころ. すわの海. 来目路濃橋所収
	3	書名 姨捨の系譜
		著者名 工藤茂／著
		出版社 おうふう
		出版年 2005.2
		内容紹介 日本文学を貫流する「姨捨、姥捨、棄老」のモチーフにスポットを当て、「大和物語」「日本霊異記」から柳田国男「親棄山」、太宰治「姥捨」、小池真理子「姥捨ての街」などの現代文学の中にその系譜を見いだす。
4	書名 双調平家物語【15】	
	著者名 橋本治／著	
	出版社 中央公論新社	
	出版年 2007.1	
	内容紹介 源家棟梁となった頼朝。一方、望まぬ戦から「反平氏」となり、状況に翻弄されて上洛への道を進むこととなる義仲。清盛を失った平氏一門は、かくて都を落ちて行く。源氏の巻(承前)、落日の巻、灌頂の巻を収録した第15巻。	
5	書名 李花集 (岩波文庫)	
	著者名 宗良親王／著	
	出版社 岩波書店	
	出版年 1941.6	

		内容紹介	後醍醐天皇の皇子であった宗良(むねなが)親王は信濃の宮とも称され南朝方の征東将軍として戦いに明け暮れるが、一方南朝方随一の歌人でもあった。李花集はその宗良親王千四百余首を選集したもので、信濃や姨捨の里で詠じた歌も何首がある。
	6	書名	石堂丸苜蓿物語
		著者名	曲亭馬琴／編
		出版社	覚張栄三郎
		出版年	1892.6
		内容紹介	娘は近隣の村人に救われ、やがて繁光の子を産み落とし、石堂丸繁太郎と命名した。すくすくと育った繁太郎は、かたわらの地蔵菩薩にも育てられ、やがて15歳の元服に、遠く離れた父と再会のため、また祖父の仇を討つため、鎌倉へと旅立った。
	7	書名	滑稽本 善光寺道中 続 膝栗毛
		著者名	十返舎一九／著
		出版社	十返舎一九
		出版年	1983
		内容紹介	
	8	書名	父の終焉日記・おらが春 (岩波文庫)
		著者名	一茶／著
		出版社	岩波書店
		出版年	1992.1
		内容紹介	
	9	書名	日本外史 (頼山陽選集)
		著者名	頼山陽／著
		出版社	近藤出版社
		出版年	1982.1
		内容紹介	
	10	書名	善光寺道名所図会 (版本地誌大系)
		著者名	豊田庸園／著
		出版社	臨川書店
		出版年	1998.4
		内容紹介	嘉永2年に刊行された「善光寺道名所図会」を影印、複製。善光寺はもとより、安曇野、戸隠などの名所や地方名士の林泉、各地の民業まで取材した当時の信濃の風土と歴史を伝える貴重な資料。
雑誌	1	論題名	古典に現はれたる信濃性格
		著者名	高階成章
		雑誌名	信濃
		出版年	
		巻号頁数	第2次第17巻第5号
インターネット	1	サイト名	国会図書館サーチ
		URL	https://iss.ndl.go.jp/
		概要	関連する図書、記事論文、レファレンス事例などを探することができる
	2	サイト名	信州ブックサーチ

信濃の古典(2)

	URL	https://www.knowledge.pref.nagano.lg.jp/index.html
	概要	関連する図書、記事論文などを探することができる